

サステナビリティ戦略「PLEDGES」

事業におけるリスク/機会、社会に与え得るインパクト (IRO[※]) 領域を可視化し、Inspire 2027における「PLEDGES」のKPI/目標を策定

Inspire 2027では、ハーモナイズドソサエティの実現に貢献し、日立の持続的成長をめざしています。その実現に向けたサステナブル経営の深化を進めるため、日立グループサステナビリティ戦略フレームワーク「PLEDGES」を策定しました。

※Impact, Risk, Opportunity

サステナビリティ戦略「PLEDGES」策定プロセス

サステナビリティレポート 

1	サステナビリティピックアップリストの作成 ESRS ^{*1} ・SASB ^{*2} 等の国際的な基準を参照し、サステナビリティピックアップリストを作成。
2	事業リスク・機会および社会へのインパクト (IRO) 分析・評価 1で作成したリストを用いて、各事業の特性やバリューチェーンを考慮したIROの分析・評価を、グループ共通の基準に基づき実施。事業部門ごとの分析・評価結果をもとに、トピックごとに事業リスク/機会および社会インパクトスコアを算出し、優先的に取り組むべきIRO領域を可視化。
3	ステークホルダーからの期待・要請を確認 2で可視化したIRO領域の妥当性を確認するため、国内外の投資家、国際機関、NGO等10社/組織とのダイアログを通じて、外部ステークホルダーからの期待・要請などを確認。
4	日立グループの経営方針・戦略の観点から経営幹部による議論の実施
5	サステナビリティ戦略「PLEDGES」を経営会議・取締役会にて報告・承認

「PLEDGES」は、日立が取り組むべきIRO領域として7つの戦略の柱として整理し、それぞれのめざす姿・KPI/目標を定めています。はじめの6つの柱であるPlanet、Leadership、Empowerment、Diverse perspectives、Governance、Engagementには、日立の持続的な成長を支える経営基盤強化につながる考え方や戦略が含まれています。S (Sustainability for all) は、6つの柱に基づく事業活動を進めることで、社会へ価値を提供するコミットメントを示しています。一部の目標については、2025年度より役員報酬における短期インセンティブまたは中長期インセンティブを決定する評価指標として組み込み、達成にむけて取り組んでいます。

*1 European Sustainability Reporting Standards (欧州サステナビリティ報告基準)

*2 Sustainability Accounting Standards Board (サステナビリティ会計基準審議会)

*3 全製造、A・B非製造の拠点が対象 *4 売上総利益あたり *5 製造拠点が対象

*6 グローバルな競合他社を上回る、意欲的な目標として80ポイントを設定 (基本目標は75ポイント)

*7 日立グループ従業員を対象にしたボトムアップによるアイデア提案と実現を支援するプログラム

*8 外部機関 (Ethisphere) の意識調査における、日立と業種の近い企業のベンチマークスコアと同等またはそれ以上

*9 20万労働時間当たりの総災害発生率

*10 サイバーセキュリティに関する国際規格 (ISO/IEC 27000 シリーズ)、フレームワーク (NISTサイバーセキュリティフレームワークなど) を参考に作成された経済産業省サイバーセキュリティ経営ガイドラインなどに基づく

「PLEDGES」の概要と各戦略ごとのKPI/目標

 P.40 役員報酬

戦略の柱	めざす姿	含まれるテーマ	2027年度 KPI/目標	役員報酬との連動	
Planet	脱炭素の実現に向け、GXをグローバルでリード	脱炭素	事業所 (ファクトリー・オフィス) のGHG排出量削減率 ^{*3} (2019年度比)	75%	STI
			GHG排出削減目標・計画を設定した調達パートナー数	700社	
			製品・サービスのGHG排出原単位削減率 ^{*4} (2022年度比)	40%	
		サーキュラーエコノミー	新規開発品に対する環境配慮適用率	100%	
			廃棄物埋立率	2%	
			プラスチック廃棄物の有効利用率 ^{*5}	92.5%	
ネイチャーポジティブ	水使用量原単位改善率 ^{*5} (2019年度比)	8%			
	水ストレス地域に立地する製造事業所の水使用量削減率	1%			
Leadership	社会課題を自分事として捉え、時代を切り拓く人材が変革をけん引	人材の獲得・育成、個々人のリーダーシップ	成長戦略を実現するグローバルリーダー数	1,000人	
			生成AIプロフェッショナル人材数	50,000人	
			従業員成長マインドセットスコア	70ポイント	LTI
Empowerment	学びを称賛し、挑戦と成長を促す組織風土の醸成	従業員エンゲージメント、カルチャー醸成	従業員エンゲージメントスコア	80ポイント ^{*6}	STI・LTI
			譲渡制限付株式ユニット付与対象人数	1,500人	
			グローバルでの持株制度対象人数	150,000人	
Diverse perspectives	多様な人材が能力を最大限発揮し、イノベーションを創出	インクルーシブな職場と成長機会	新しい“Make a Difference!”プログラム ^{*7} を通じた、革新的アイデアの実現		
			企業倫理・コンプライアンス	企業倫理・コンプライアンスに関する意識調査スコア	85ポイント ^{*8}
Governance	安全と倫理を最優先とし、レジリエントな組織基盤を構築	安全衛生	総災害発生率 (Total Recordable Injury Frequency Rate) ^{*9}	0.1以下	STI
			死亡災害件数	0件	
		品質・製品安全	製品事故に関する反省会「落穂拾い」への役員 (日立の役員層または事業所幹部) 参加率	100%	
		情報セキュリティ	毎年のサイバーセキュリティスコアのモニタリング ^{*10} に基づいた対策の実行による情報セキュリティを維持・向上		
		AIガバナンス	製品、サービスおよびシステムへのAIの適用に際してのリスク管理の実施		
Engagement	ステークホルダーと共にサステナブルなバリューチェーンを構築	リスクマネジメント	グローバルオペレーションにおける成長のための効果的なリスクマネジメントの推進に向けた人材・プロセスの強化		
			サステナブル調達	日立とともに環境や人権に取り組む調達パートナー数 (2024年度対比)	1.5倍 (約6,000社+)
		人権	特定した要対応人権リスクに対する是正活動の実施		
Sustainability for all	PLEDGEにより、社会への価値提供と日立の持続的成長を加速	社会への価値提供	製品・サービスのGHG排出削減貢献量/年 (2025~2027年度平均)	1億トン/年	
			GXに貢献する製品・サービス/ソリューションの売上/年 (2025~2027年度平均)	4.6兆円/年	